

2016年度新入生アンケート調査結果報告書

- ・ 法政大学への満足度は70.6% (前年比0.3ポイント増加)
- ・ 入学学部への満足度は66.9% (前年比0.2ポイント増加)
- ・ 法政大学及び入学学部に対する感想は、8項目中5項目で肯定的回答が前年度を上回るも「就職につよい」と感じる学生は依然として低い割合
- ・ 大学在学中の目標はほぼ例年と変わらず
- ・ 「法政大学を勧めたい」と回答した学生は55.8% (前年比1.0ポイント減少)

実施時期：2016年6～7月 対象：2016年度新入生(学部) 有効回答数：6362件(回収率：81.8%)

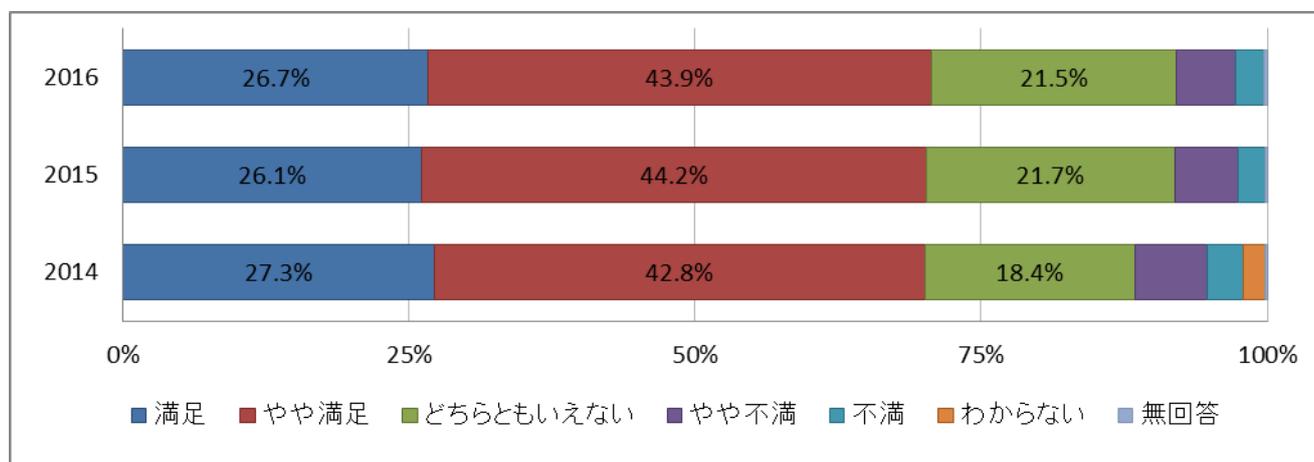
1 調査結果

1.1 法政大学および入学学部に対する満足度

図1.1.1および図1.1.2は、「現時点で、法政大学および入学学部に対してどの程度満足していますか」との質問に対する回答結果です。

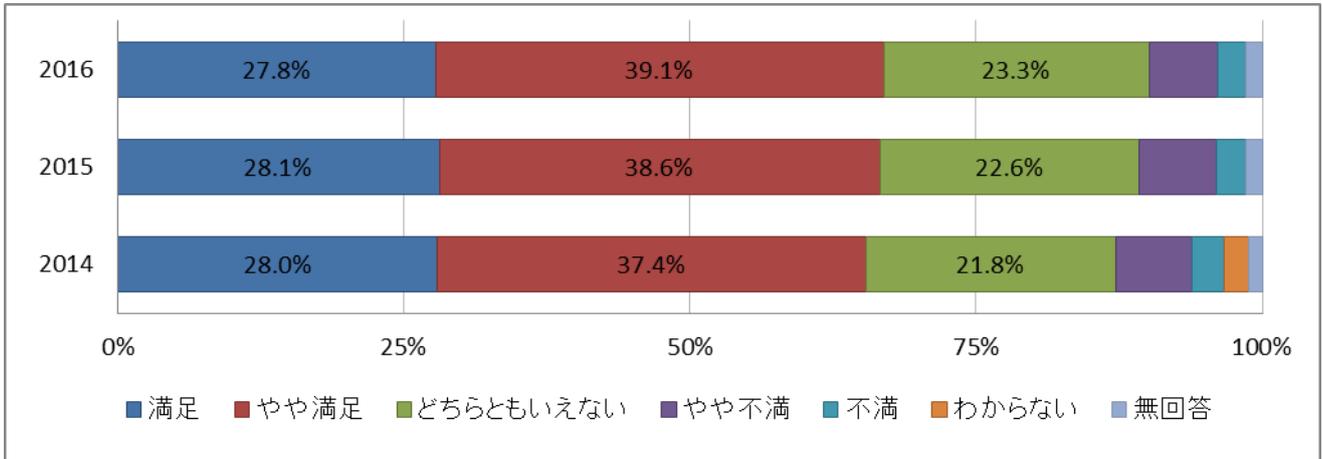
大学に対する満足度(70.6%)('満足'と'やや満足'の合計、以下同様)は、2015年度(70.3%)と比べ0.3ポイント増となりました。

図1.1.1 法政大学に対する満足度(全学)



学部に対する満足度（66.9%）は、2015年度（66.7%）に比べ0.2ポイント増となりました。

図 1.1.2 入学学部に対する満足度（全学）

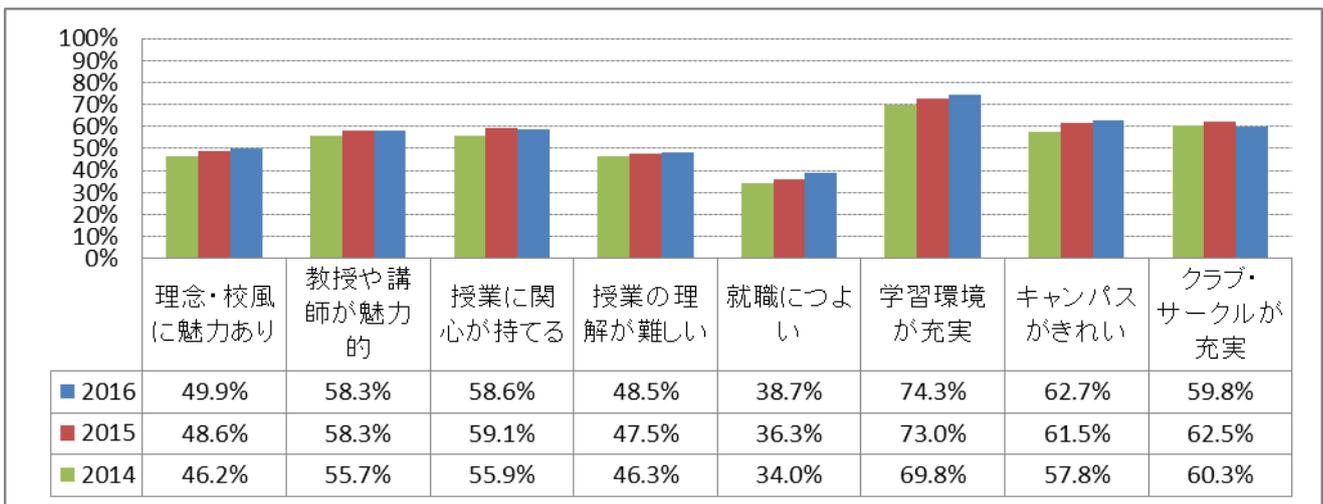


1.2 法政大学および入学学部について

図 1.2.1 は「現時点で、法政大学（および入学学部）についてどのように感じていますか」に対する肯定的回答（「そう思う」と「いづらかそう思う」の合計）の集計結果です。①「理念や校風に魅力がある」、②「教授や講師に魅力的な人がいる」、③「授業に関心もてる」、④「授業の理解が難しい」、⑤「就職に強い」、⑥「図書館などの学習環境が充実している」、⑦「キャンパスがきれいである」、⑧「クラブやサークル活動が充実している」の8項目について質問しました。

8項目中5項目で肯定的回答が前年度を上回っています。また、「就職につよい」と感じる学生はこれまで同様に4割を切っており低い割合を示しています。

図 1.2.1 法政大学および入学学部についての感想（全学）

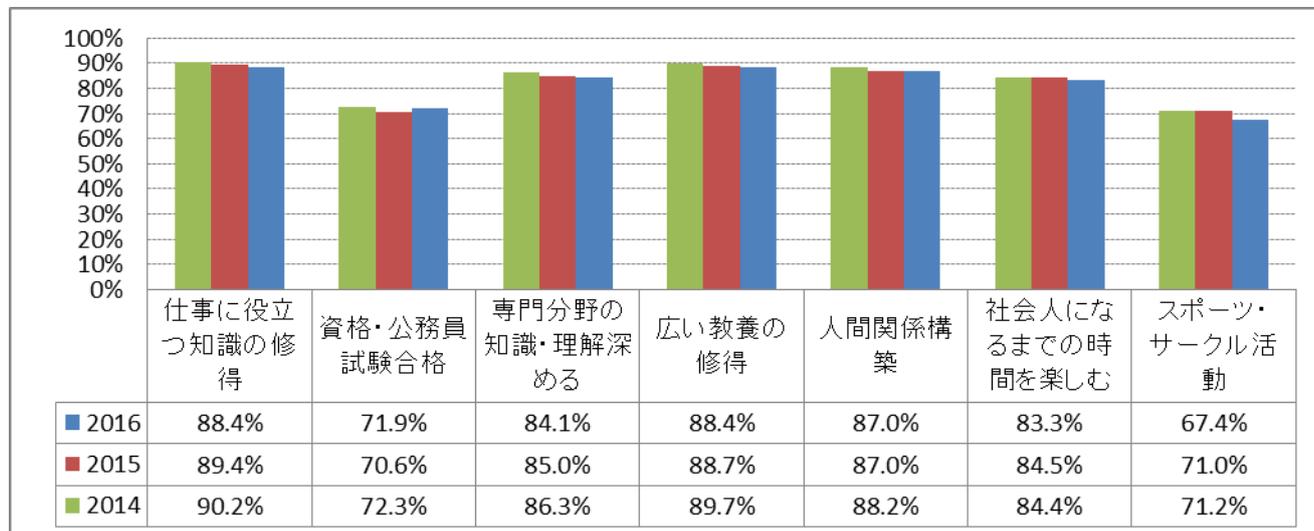


1.3 大学在学中の目標

図 1.3.1 は「大学在学中の目標として、どのようなことが重要ですか」との質問に対する回答（「重要である」+「いづらか重要である」）を集計した結果です。①将来の仕事に役立つ知識を身につける、②資格試験・公務員試験などに合格する、③専門分野の知識・理解を深める、④広い教養・ものの見方を身につける、⑤有意義な人間関係を築く、⑥社会人になるまでの時間を楽しむ、⑦スポーツ・サークル活動に力を入れる、の7項目について質問しました。

全体的な回答の傾向は、2014年度、2015年度と同様です。項目別では、「将来の仕事に役立つ知識を身につける」、「広い教養・ものの見方を身につける」（ともに88.4%）が最も多く、「有意義な人間関係を築く」（87.0%）と続いています。

図 1.3.1 大学在学中の目標（全学）

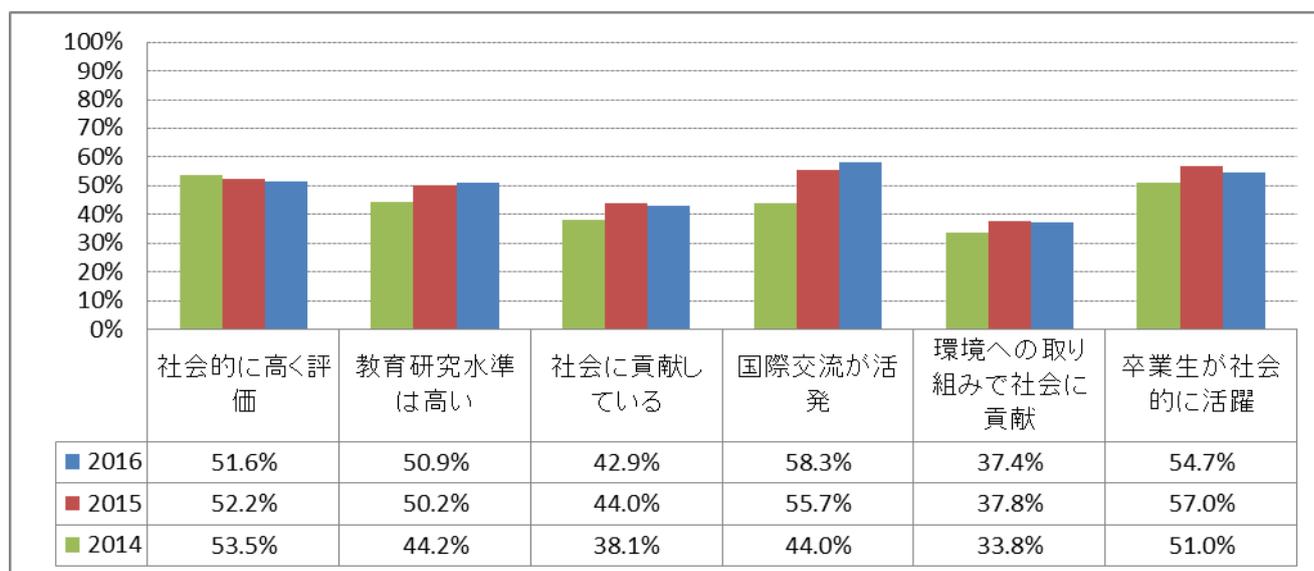


1.4 法政大学の評価（イメージ）

図 1.4.1 は、「法政大学は社会からどのように評価されていますか」の質問に対する肯定的回答（「そう思う」＋「いづらかそう思う」の割合）を集計した結果です。①社会的にも高く評価されている、②教育研究水準は相対的に高い、③教育研究を通して社会に貢献している、④国際交流は活発である、⑤環境への取り組みを通して社会に貢献している、⑥卒業生は社会的に活躍している、の6項目について質問しました。

肯定的回答は、「国際交流は活発である」（58.3%）が最も高く、「卒業生は社会的に活躍している」（54.7%）、「社会的にも高く評価されている」（51.6%）と続いています。

図 1.4.1 法政大学のイメージ（全学）

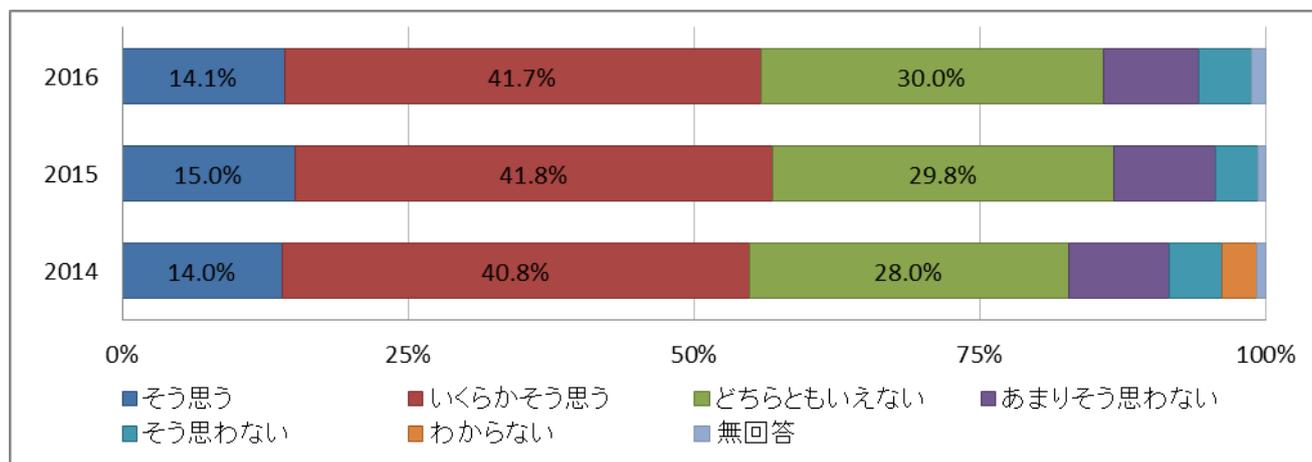


1.5 法政大学を勧めたいと思うか

図 1.5.1 は、「もし身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」の質問に対する回答である。

肯定的回答は 55.8%であり、2015 年度（56.8%）に比べ 1.0 ポイント減少しています。

図 1.5.1 法政大学を勧めたいか（全学）



以上